

有機フッ素化合物に関する要望書の提出

1 要 旨

防衛省中国四国防衛局から、川上弾薬庫において、1991（平成3）年から2009（平成21）年までの間、PFOS を含む泡消火薬剤を使用した消防車の点検及び訓練を行っていたという使用履歴等が、米側から得られたとの回答があった（令和6年9月6日付け）。これを受け、防衛省中国四国防衛局長に対し改めて要望書を提出した。

2 要望先

防衛省中国四国防衛局長

3 要望事項

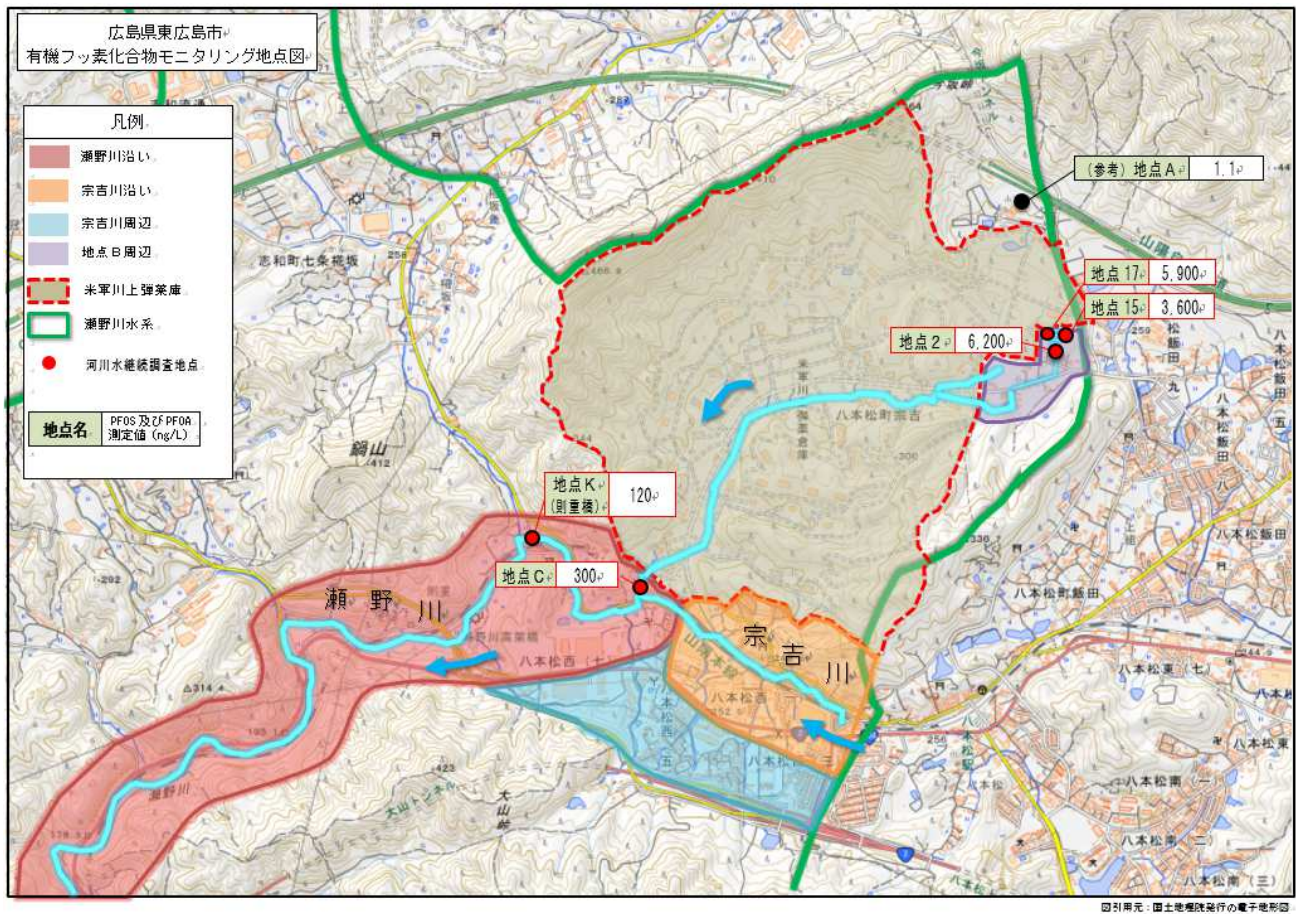
弾薬庫周辺住民の安全・安心のための取組みを推進するため、次の事項について、早急に対応を行うよう米軍へ強く働き掛けること

- ① PFOS等を含有する泡消火薬剤の使用時期・場所・放出量・訓練や点検時の漏出の有無・放出の際の周辺への飛散状況等についての詳細な調査と公表
- ② 弾薬庫内の水質・土壌調査等環境調査の実施と数値の公表
- ③ 原因が弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の公表

4 要望内容の詳細

別紙要望書のとおり

広島県東広島市有機フッ素化合物モニタリング結果



区分	地点		令和5年 12月	令和6年 1～2月	4月	6月	8月
PFOS・ PFOA 合算値 (単位 ng/L)	河川	地点2	—	2,700	3,300	3,300	6,200
		地点15	—	1,500	3,100	1,700	3,600
		地点17	—	3,600	3,800	4,100	5,900
		地点C	250	—	240	200	300
		地点K	170	—	140	100	120
	地下水	地点B 付近	—	1,300	—	—	640
		瀬野川 沿い	—	15,000	—	—	5,200
			—	4,100	—	—	6,000
			—	1,600	—	—	2,300
			—	80	—	—	61

有機フッ素化合物に関する要望書

令和6年9月30日

東 広 島 市

防衛省中国四国防衛局長 田實 博幸 様

東広島市長 高垣 廣徳

本市が令和５年度に実施した瀬野川水系の水質調査において、河川や地下水など暫定指針値を大幅に超過するＰＦＯＳ等が検出されました。

本市は、市民の健康を第一と考え、地下水中のＰＦＯＳ等の濃度が超過した地点の世帯等を対象に上水道への接続支援を実施しているほか、東広島市有機フッ素化合物環境調査検討委員会を立ち上げ、学識経験者の意見を頂きながら河川・地下水等の継続的な水質の監視を行っているところです。

この度、防衛省や、貴局に対して提出していました、川上弾薬庫におけるＰＦＯＳ等の保有や使用履歴の公表、水質等調査の実施や結果の公表を米軍に求める要望書に対する一部回答の中で、米軍川上弾薬庫内北東部のヘリパッド周辺において、ＰＦＯＳを含む泡消火薬剤を使用した訓練等が行われていたことが明らかになりました。

この事実は、これまでの本市の調査結果を踏まえると、川上弾薬庫から流れ出る水の汚染の原因となり得る蓋然性が高いものと言えるのではないかと考えています。

市民の安全・安心のために、ＰＦＯＳ等が検出された地域において一日も早い原因究明とその対策が求められています。

つきましては、引き続き次の措置を講ずるようお願いします。

要望事項

弾薬庫周辺住民の安全・安心のための取組みを推進するため、次の事項について、早急に対応を行うよう米軍へ強く働き掛けること

- 1 P F O S等を含有する泡消火薬剤の使用時期・場所・放出量・訓練や点検時の漏出の有無・放出の際の周辺への飛散状況等についての詳細な調査と公表
- 2 弾薬庫内の水質・土壌調査等環境調査の実施と数値の公表
- 3 原因が弾薬庫内にあると考えられる場合の対応方針の公表